

ゆっくり向き合う、親子の時間に。

もしも、子どもが犯罪被害にあったら

親と子どものための ワークショップ



小学校5～6年生対象

夏休みの自由研究の題材にぴったり！
中学生となり活動の場が広がる前の
貴重な社会学習の場にも！

犯罪被害は、多くの方に「自分には関係のないもの」と思われがちですが、

子どもたちにとっても意外と身近に起こりうるものです。

例えば、電車の中や帰宅途中での痴漢被害、不審者に後をつけられる、

街での恐喝や暴行などは、現代の子どもたちにとって決して他人事ではありません。

このワークショップは、保護者の方に、犯罪被害に遭ったとき、

子どもの心とからだにどのような反応が起こるのか、

そんなとき親は子どもにどう接すればよいのかを知っていただくことを目的としています。

また、子どもたちには、強いストレスがかかった時の反応と対応を学んでもらい、

犯罪予防やストレスに負けない強い心を育むことにつなげてもらいます。

ぜひ親子でワークショップに参加して、

「困難を一緒に乗り越えられる親子の絆」を深めてください！

【ワークショッププログラム】

I

親子でいっしょに学ぶ「犯罪被害」

- 1 犯罪ってなに？
- 2 あなたの周りの犯罪被害
- 3 被害に遭うと、子どもは
- 4 親子でやってみよう！リラックス体操

II

親子わかれてワーク

- 子どもだけのワークの時間
- 1 どんな時に、どんなきもちになるか考えてみよう
 - 2 つらいきもちを上手にコントロールしよう
 - 3 考え方を変えると、きもちはどう変わるかな？

親のためのワークの時間

- 1 子どもが犯罪被害にあったときの親のきもち
- 2 子どもの「安全な場所」になろう
- 3 ロールプレイ

III

親子クイズ

IV

自分のよいところを3つあげてみよう

